



## 旭日双光章

土地改良事業  
地方自治功勞

高橋 篤<sup>あつし</sup>さん(79)  
=永沢上野中=

昭和59年に町議会議員に初当選し、平成6年1月から平成12年2月までは議長として円滑な議会運営に尽力。また平成8年には永沢土地改良区の理事長に就任し、厳しい財政運営から立て直しに貢献した篤さん。議員としては下水道事業や議会広報の創刊、県内初のナイター議会など住民の利便性と開かれた議会を目指し奔走した日々だったという。また土地改良区ではとにかく財政を立て直すため創意工夫し職員一丸となり取り組んだと振り返る。今回の受賞は「家族と地域の支えがあったからこそ。感謝している」と話した。

## 黄綬褒章

業務精励

小澤 信男<sup>のぶ お</sup>さん(76)  
=西根道ノ町=

視力に障がいを負いながらも昭和47年から町内にはりきゆうマッサージの理療院を開設。自らの障がい克服し活躍している信男さん。20歳の頃から網膜剥離が進行し5年後には両眼の視力を失ったが、22歳の時に産まれた長女の存在が「このままではいられない。自分が支えなければ」と資格取得を後押しし、開業までたどりつけたという。その後は、誠心誠意・良心的な診療や地域でマッサージの奉仕活動、福祉活動に尽力。「当たり前のことをしてきたつもりだが、家族と地域に支えられ今の自分がある。感謝の一言です」と話した。



Face 特別編

# 祝 平成30年「春の褒章・叙勲」



## 瑞宝双光章

消防功勞

矢作 實<sup>みのる</sup>さん(69)  
=西根和光=

第3分団第5部に20歳で入団し、平成23年4月から平成29年3月まで団長として地域の安心安全のために尽力してきた實さん。49年間の消防団生活で一番記憶に残るのは東日本大震災だという。災害は想定外のが起こり、どんな時でも消防団は活動が求められる。「家族には心配をかけたが理解と協力があつたからこそ地域や町民のためという信念のもと活動できた」と活動を振り返った。「消防団でたくさんの人と関わり勉強になった。ここまで活動できたのは家族と団員みんなのおかげ」と感謝の気持ちを話した。

## 旭日単光章

農業振興功勞

及川 貞幸<sup>さだ よし</sup>さん(77)  
=永栄関田=

平成11年7月から町農業委員を務め、平成20年7月から平成29年7月まで3期9年間、会長として優良農地の保全、農業振興の発展に尽力してきた貞幸さん。会長に就任したころは耕作放棄地が増え大変な時期であり、その他にも不法転用などの問題に突き当たると「農地法に基づいた中立な立場で臨むこと」を心がけ解決に尽力した。また、農業振興地域でも家を建てられるようにし、農家減少に少しは役立てたのかもしれないと振り返り「これからは農業委員と推進委員がタイアップして取り組んでもらいたい」と後輩への思いを語った。

